

建物及び設備の主な石綿使用状況(2011年3月31日現在)

対象	使用箇所	使用状況	対応状況
吹付け石綿	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所建物の設備機器室/予備電源室</li> <li>変電所の変圧器室</li> <li>供給用変圧器室などの壁面や天井</li> </ul>	自社建物 <sup>*1</sup> :39(43)棟 (うち7(8)棟はひる石吹付け <sup>*2</sup> など)  供給用変圧器室:17(27)ヵ所	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹付け石綿を利用している自社建物のうち、23棟については封じ込め等の飛散防止処理済み</li> <li>吹付け石綿は通常、施錠した室内のため、第三者の接触などによる飛散の恐れなし</li> <li>定期的に劣化度調査・浮遊濃度測定を行い、安全を確認。順次撤去中</li> <li>ロックウール吹付け・ひる石吹付けなどについては継続調査中</li> </ul>
石綿含有製品	保温材	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電設備など(火力設備、原子力設備など)</li> </ul> 約7万 <sup>*3</sup> (8万)m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成形品のため、通常状態において飛散性なし</li> <li>定期検査や修繕工事などの機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替え予定</li> </ul>
	シール材 ジョイントシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電設備など(火力設備、原子力設備など)</li> </ul> 約72万 <sup>*3</sup> (74万)個	
	あて板	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般家庭の一部のアンペアブレーカの裏側</li> </ul> 約106万(113万)個	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さま宅内に取り付けした設備として、1988年以前製造の単相2線式30Aブレーカーの裏側に「あて板」として使用されているものあり</li> <li>成形品であり、加えて金属板に覆われていることから、飛散性はなし</li> <li>使用上、安全には問題ないが、お客様のご要望に応じて改修を実施している</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外にも石綿を含んだ建材、防音材、耐熱・耐火板などを建物および設備に使用</li> <li>いずれも成形品であったり、機器の内部で使用されているなど、通常状態において飛散性はないが、定期検査や修繕工事などの機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替え予定</li> </ul>	

括弧内の数字は昨年実績(2010年3月31日)

\*1 公表対象から漏れていた封じ込め等の飛散防止処理を行っている建物を追加

\*2 ひる石吹付け 吹付け石綿に比べ、極薄く吹付けた石綿含有率の低い仕上げ用吹付け材

\*3 福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の使用状況については、震災の影響によりデータ集約が困難であったため、2010年3月31日の値を記載